

# 安心

## 認知症

明日へ

②

政府が進める「認知症施策推進5年計画(オレンジプラン)」の目玉が、認知症の初期から本人や家族を支える「初期集中支援チーム」の創設だ。本人の意思を尊重しながら支援策を考え、在宅生活を維持する。今年から14市区町でモデル事業が始まっている。(小山孝、写真も)

## 初期から集中支援チーム

この「オレンジプラン」

- 【認知症ケアバス】(状態に応じた適切なサービス提供の流れ)の作成・普及
- 早期診断・早期対応
  - ・研修を受けたりつけて医師:35万5千人・5万人
  - ・認知症サポート医の養成数:2500人・4000人
  - ・「認知症初期集中支援チーム」の設置:モデル事業を経て2015年度以降に制度化
  - ・早期診断等を担う医療機関数:「認知症疾患医療センター」を含め約500か所整備
- 地域での生活を支える医療サービスの構築
- 地域での生活を支える介護サービスの構築
- 地域での日常生活・家族の支援の強化
- 若年性認知症施策の強化
- 医療・介護サービスを担う人材の育成

(厚生労働省の資料より)

「認知症と診断され、ショックでどうなるのか心配でした。早くから支えてくれて、助かっています」東京都世田谷区内に一人で暮らす分部武男さん(86)が語る。認知症があり、昨年秋から「初期集中支援チーム」の運営を続けていている。物忘れで鍋を焦がしたた

くれて、助かっています」東京都世田谷区内に一人で暮らす分部武男さん(86)が語る。認知症があり、昨年秋から「初期集中支援チーム」の運営を続けていている。物忘れで鍋を焦がしたた

くれて、助かっています」東京都世田谷区内に一人で暮らす分部武男さん(86)が語る。認知症があり、昨年秋から「初期集中支援チーム」の運営を続けていている。物忘れで鍋を焦がしたた

リニック」が取り組む支援チームを紹介された。同ク リニックは、世田谷区を含めて14市区町で始まった国のモデル事業に先駆け、支援チームを運営してきた。

その目的は、「発症初期から認知症の人の生活を支え、入院を防いで住み慣れた場所で生活を維持する」。看護師や作業療法士、保健師などがおらず、認知症の専門医が助言役で加わる。昨年秋、分部さん宅を同

で暮らしたいなど本人の希望を2時間かけて聞き取

り、支援策を検討した。その結果、歩行に障害が出やすくなり、手足を設置することになった。リハビリも導入し、転ばないように室内で靴を履くことを勧め

ています」と山口さんは言う。

\* \* \*

認知症の相談は地域包括支援センターなどが中心で、その長期入院を余儀なくする人が、症状が悪化していくのが特徴だ。そのため、早期に地域包括支援センターに設置する方針が取られた。

モデル事業に参加した世田谷区では、同クリニックを含む5支所を網羅的に支援。支援料針付チラシを各地区に配布する。地域包括支援センターの職員が集まる会議で決

められる。10月には同クリニックで開かれた会議では、「物忘れが家族が責めてしまう」と話す。東京都健康長寿医療センター研究所の栗田主二研究員は、「認知症は、活動が減っていく。たまに地図を読むのが困難だ」と指摘する。

## 医療・介護連携 在宅を維持

め、昨年春に受診する「レポート小体認型認証と診断された。以後介護保険の申請を利用してきたが、誰もいない家の人の気配を感じたり、体がわざわざする症状に悩まされて。今年から14市区町でモデル事業が始まっている。(小山孝、写真も)



リハビリを受ける分部さん(左)。「早い時期にかかわってもらえた」と話す(東京都世田谷区内で)

事は専門弁当を中心据えることにした。支援したのは6ヵ月。その後はケアマネジャーに引き継がれ、このタイプの認知症の特徴を説明した。生活感覚や段階で暮らしたいなど本人の希望を2時間かけて聞き取り、支援策を検討した。その結果、歩行に障害が出やすくなり、手足を設置することになった。リハビリも導入し、転ばないように室内で靴を履くことを勧めています」と山口さんは言う。

\* \* \*

認知症の相談は地域包括支援センターなどが中心で、その長期入院を余儀なくする人が、症状が悪化していくのが特徴だ。そのため、早期に地域包括支援センターに設置する方針が取られた。

モデル事業は福島市、長野市、神戸市などでも行われているが、課題が多い。台市の市内に15年間で10件を設置したが、一つの設置を決めた。15年間は活動が減っていく。たまに地図を読むのが困難だ」と心配する。前橋市の担当者は、「発症初期以前に、既に認知症が悪化した人のために必要なのが現状だ」と話す。

東京都健康長寿医療センター研究所の栗田主二研究員は、「認知症は、活動が減っていく。たまに地図を読むのが困難だ」と心配する。前橋市の担当者は、「発症初期以前に、既に認知症が悪化した人のために必要なのが現状だ」と話す。

い。地域で活動している保健師やケアマネジャーがもともと対応できよう、研修も